デジタル印刷機の手差しトレイ補助ユニット

用紙サイズをしっかり固定

関西モリッツ

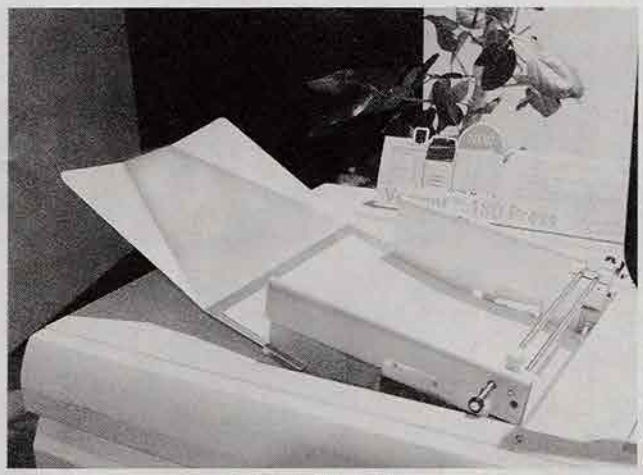
デジタル印刷機の手差しトレイで長尺用紙などを給紙する際、用紙が斜めに給紙されてしまうなどの問題が発生することはないだろうか？手差しトレイ補助ユニット「トレイガイダー」は、このようなユーザーの悩みを解決するため、㈱関西モリッツ（本社／大阪市北区、森川博光社長）が開発した製品である。

去る7月5日に富士ゼロックスのドキュメントコア大阪において開催された「プロモーション＆クリエーションフェア2017」では、デジタル印刷機Versant180Pressに「トレイガイダー」が取り付けられ、実演が行われていた。

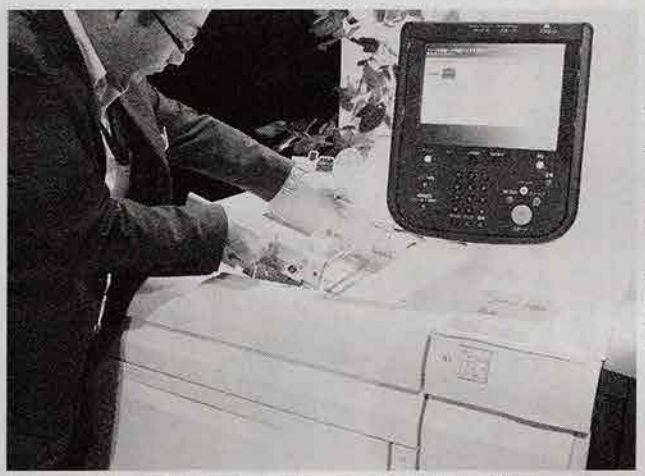
長尺サイズにも対応

「トレイガイダー」は給紙に手差しトレイを使用する際、用紙が斜めに給紙されたり、ハガキを印刷するとガイド（用紙サイズ）幅に隙間ができて位置がずれてしまうなどの問題を解決するもので、オペレーターの作業ストレス解消と効率化に貢献する製品である。

富士ゼロックス大阪㈱の村瀬幸一氏は、「手差しトレイのガイドは基本的にユニバーサルデザインの考えに基づいて設計されているため、力の弱い方でも簡単に動かせる。しかし、それが逆にユーザー企業では、それぞれゴムや詰め物で動かないように固定されていた。そこで関西モリッツ社に相談したところ、『トレイガイダー』が開発された」と話す。



トレイガイダー



取り付けはわずか３秒で完了する

手差しトレイに同製品を取り付ければ、用紙サイズ幅できっちりと用紙を固定することができる。長尺用紙をプリント時にも、斜めに給紙されるような心配もない。

取り付けも簡単で、手差しトレイのガイドと「トレイガイダー」をはめ込むだけの簡単取り付け設計で、取り付けは約3秒で完了する。

用紙サイズも簡単に設定することができ、「トレイガイダー」の摘まみを緩めて用紙サイズにスライドさせ、サイズを合わせて摘まみを締めるだけである。ハガキサイズからA3ノビの長尺サイズまで対応している。

現在、DocuColor1450GA、DocuColor7171P、Versant180Press、Versant3100Pressに対応することが確認されている。

なお、販売価格は5万円（税別）。

また、重ね送りを軽減する「ローラー付きトレイガイダー」は8月下旬より販売を開始する。価格は未定。